

未来へのパスポート

~今月のテーマ~ 「消費者教育」

消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結び付けよう

「消費者教育」とは??

消費者教育とは、消費者が自立し、主体的に社会の一員として行動できるように、消費生活に関する知識や判断力を身につけるための教育のことです。消費生活においては、これまでもさまざまな消費者問題が発生してきました。さらに情報化やグローバル化など経済社会の急速な進展、高齢化などにより、消費生活に関する適時適切な学びが求められています。自立した消費者であるために、その時代、社会に応じて、さまざまな知識と適切な行動がとれる実践的な能力を身につけ、豊かで安全安心な暮らしを実現していきましょう。

「自立した消費者」として大事なこととは??

- ●被害に遭わないよう努めること 【だまされない消費者】
- ●合理的意思決定ができ、消費者の権利や責任を理解し行動できるよう努めること 【自分で考える消費者】
- ●消費者の行動が環境や社会に与える影響を理解し、社会の一員としてより良い市場とより良い社会の発展のために公平かつ積極的に参画すること 【持続可能な社会の実現に貢献する消費者】

消費者教育ではどんなことを学ぶの??

悪質商法から身を守る方法や、契約に関する知識、持続可能 な消費行動など、学ぶ内容は多岐にわたります。

ライフステージによって学ぶ段階も変わってきます。学校教育、地域社会、家庭など、さまざまな場所で生涯にわたって学んでいきましょう。

学びの具体的な例

◆契約に関する知識

契約の種類、契約の注意点、クーリングオフ制度など

◆悪質商法への対策

詐欺、訪問販売、マルチ商法など、悪質商法の種類や手口、 被害に遭わないための対策など

◆金融教育

お金の管理、家計簿のつけ方、資産運用など

◆持続可能な消費

環境に配慮した消費行動、食品ロス削減、省エネなど

◆情報リテラシー

インターネットやSNSでの情報収集、情報源の信頼性判断、 情報モラルなど

宮崎県特殊詐欺事件 認知状況

消費者教育の推進に関する法律

(平成24年12月13日施行)

令和7年7月末現在

認知件数 66件



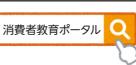
被害金額 約2億4千万円

★件数は昨年同じ時期のおよそ**3倍!**

参考:宮崎県警察本部発表「特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺事件 認知状況」



消費者庁では、消費者教育ポータルサイトを公開しており、教材や情報を提供しています。 また、文部科学省では、消費者教育アドバイザーを派遣し、学校や地域における消費 者教育を支援しています。ぜひ、ご活用ください。



地域おこし協力隊活動報告(移住担当)

私は現在、高千穂町が移住・定住推進事業を 委託している「NPO法人一滴の会」に出向し、事 務局として従事しています(着任:2024年6月)。 主な役割は、①移住相談・移住交流、②空き家

一滴の会での地域おこし協力隊としての活動 をこちらにご報告いたします。

■着任~現在の主な実績(累計)

・移住定住相談 延べ 348件・物件案内 89世帯

·空き家バンク掲載 19件/成約12件

■今年度(4~8月)の実績

の調査・管理です。

・移住定住相談・物件案内・新規問い合わせ・移住体験住宅利用対応・移住体験住宅利用対応

■住宅不足への対応:空き家所有者への働きかけ

高千穂町には慢性的な住宅不足の現状があり、移住希望者が移住する際のボトルネックとなっています。

そこで、未利用空き家の掘り起こしと活用可否の確認を目的に、昨年末に固定資産税の納税情報に基づき町外在住の所有者へ利活用案内を631通送付しました。

現在までに37通の返信があり、返信のあったすべての方に電話連絡を行い、面談や現地確認、



(地域づくり顕彰受賞)

権利関係の整理を進めています。

現時点でその中の8件が空き家バンク掲載に 至りました。あわせて、所有者の方から感謝のお 手紙をいただくこともあり、取り組みの励みになっています。調整が必要な案件が多く時間を要し ますが、今後も所有者へのアプローチを積極的 に行い、空き家バンク掲載物件を増やす取り組み を粘り強く続けます。

■受賞のお知らせ

今年5月にNPO法人一滴の会が、令和7年度 (第30回)宮崎県「地域づくり顕彰」大賞を受賞しました。移住支援制度が広がる10年以上前から続けてきた移住・定住支援や、入居前の面談などの工夫により、移住後の暮らしが地域に根づいている点、そして受け入れを着実に積み重ねてきた点が評価されました。

このたびの顕彰は、私たちの日々の活動と、地域の皆さまのご理解・ご協力があってこそ頂けたものです。今後も町とともに、地域の課題に向き合いながら活動を続けてまいります。

★地域おこし協力隊(移住定住業務)募集★

現在、移住・定住事業に携わる地域おこし協力隊を募集しています。

関心のある方は、高千穂町役場企画観光課地域振興係へお問い合わせください。



甲斐 大将 Kai Daisuke

令和6年6月企画観光課地域おこし協力隊として着任NPO法人一滴の会へ出向し、移住相談、移住交流、空き家の調査や管理に関する業務を担当趣味は海釣りと料理。

── NPO法人一滴の会の連絡先 ──☎ 0982-83-0111 図 office@itteki.org

takachiho 2025.9